

組合概要

《令和7年度》



会津若松地方広域市町村圏整備組合

会津若松地方広域市町村圏整備組合の

共同処理事務

《規約》

第3条 組合は、次に掲げる事務を共同処理する。

- 1 消防に関すること。
(ただし、消防団に関するものを除く。)
- 2 ごみ処理施設の設置、管理及び運営に関すること。
- 3 し尿処理施設の設置、管理及び運営に関すること。
- 4 介護認定審査会の設置及び運営に関すること。
- 5 水道用水供給施設の設置及び経営に関すること。
(会津若松市、会津坂下町及び会津美里町に限る。)

目 次

1. 組合設立年月日	1
2. 構成団体	1
3. 圏域の人口・面積	1
4. 執行機関	1
5. 組合議会	1
6. 財政	2
7. 主要事業概要	5
(1) 事務局	5
① 介護認定審査事業	5
② 廃棄物処理事業	6
③ 水道用水供給事業	1 2
(2) 消防本部	1 4
(3) 会津総合開発協議会	1 7
(4) 会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会 ..	1 7
8. 組織図	1 8

1. 組合設立年月日

昭和 4 7 年 4 月 1 日

2. 構成団体

- (1) 構成市町村数 10 市町村 (1 市 7 町 2 村)
- (2) 構成市町村名 会津若松市、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

3. 圏域の人口・面積

人口 165,644 人 (令和 7 年 4 月 1 日現在：福島県現住人口調査)

面積 1,991.89 km²

4. 執行機関 ※組織図 (p.18) 参照

- (1) 管理者 1 人、副管理者 9 人
管理者は、構成市町村長の互選による。
任期は、市町村の長の任期による。
- (2) 監査委員 2 人
組合議員及び識見を有する者
- (3) 会計管理者 1 人
会津若松市会計管理者をもってあてる。
- (4) 職員
事務局職員 (一般職員) 33 人 (消防本部からの出向 2 人を含む)
事務局職員 (企業職員) 4 人
消防職員 288 人

5. 組合議会

- (1) 定例会 年 2 回 (2 月、8 月)
- (2) 議員定数 20 人 (構成市町村議会において選出)
会津若松市 7 人、会津美里町 3 人、猪苗代町 2 人
会津坂下町 2 人
磐梯町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村
各 1 人
- (3) 常任委員会 総務消防委員会 10 人
環境衛生委員会 10 人
水道供給委員会 8 人
- (4) 議会運営委員会 7 人

6. 財政

(1) 当初予算額の推移

(単位：千円)

年 度 種 別		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
一 般 会 計		8,495,446	7,238,012	11,907,227	17,902,172
水道用特別会計 水供給事業	収益的収入	611,524	603,858	607,772	610,260
	収益的支出	518,297	574,719	566,155	579,282
	資本的収入	127,695	72,578	119,300	199,500
	資本的支出	317,962	224,517	333,681	571,787

(2) 一般会計（令和 7 年度当初）

① 歳入予算概要

(単位：千円) [] 内構成比%

分担金及び負担金	(構成市町村の負担金)	4,922,175	[27.5]
使用料及び手数料	(衛生、消防手数料ほか)	300,838	[1.7]
国庫支出金	(衛生費国庫補助金ほか)	3,424,193	[19.1]
県支出金	(消防費県補助金ほか)	4,834	[0]
財産収入	(基金利子ほか)	1,010	[0]
寄附金	(寄付金)	1	[0]
繰入金	(基金、他会計繰入金)	1,449,854	[8.1]
繰越金	(前年度繰越金)	30,000	[0.2]
諸収入	(川ざらい土砂処分料ほか)	47,567	[0.3]
組合債	(一般廃棄物処理事業債ほか)	7,721,700	[43.1]
		17,902,172	[100.0]

◆ 経費の負担割合

- ア 総務費負担金（議会費、総務費の財源）
均等割 10% 人口割 90%〔人口基礎は令和2年国調人口速報値〕
- イ 介護保険負担金
均等割 10% 申請件数割 90%〔申請件数は令和5年度確定処理件数〕
- ウ 衛生費負担金
利用度割 100 %
- エ 消防費負担金
地方交付税法に規定する消防費に係る前年度の基準財政需要額割
100%

② 歳出予算概要

		(単位：千円)	〔 〕 内構成比 %
議会費	(議会運営業務)	4,589	〔 0 〕
総務費	(事務局運営業務)	143,438	〔 0.8 〕
民生費	(介護認定審査会運営業務)	58,953	〔 0.3 〕
衛生費	(廃棄物処理業務)	12,681,212	〔 70.9 〕
消防費	(消防・救急業務)	4,373,253	〔 24.4 〕
公債費	(起債償還)	583,311	〔 3.3 〕
予備費	(予備費)	57,416	〔 0.3 〕
		17,902,172	〔 100.0 〕

(3) 企業会計（令和7年度水道用水供給事業）

① 収益的収入及び支出の予定額

収入		(単位：千円)
営業収益	(用水料金)	518,478
営業外収益	(長期前受金戻入等)	91,780
特別利益	(その他特別利益等)	2
		610,260
支出		(単位：千円)
営業費用	(事業運営経費)	573,848
営業外費用	(消費税等)	2,433
特別損失		1
予備費		3,000
		579,282

② 資本的収入及び支出の予定額

収入		(単位：千円)
企業債		166,100
負担金		33,400
		199,500
支出		(単位：千円)
建設改良費	(改良工事等)	530,953
企業債償還金		40,834
		571,787

(4) 各種基金の状況（令和7年3月末）

① 旧高等学校生徒寄宿舍若松寮解体基金	424 千円
② 消防施設整備基金	214,463 千円
③ 廃棄物処理施設基金	1,576,570 千円
④ 財政調整基金	281,765 千円

7. 主要事業概要

(1) 事務局

① 介護認定審査事業

組合において介護認定審査会を組織し、構成市町村の要介護認定等の審査判定業務を行っています。

・ 介護認定審査会委員

医療関係委員 78 名（うち、医師 67 名、歯科医師 11 名）、福祉関係委員 25 名、保健関係委員 33 名、合計 136 名（うち、合議体委員 112 名、無任所委員 24 名）

合議体数 — 16 合議体

・ 令和 7 年度事業計画

介護認定審査会は週 8 回（午後 1 時から 4 回、午後 6 時から 4 回、うち、会津坂下町で午後 1 時から 1 回開催）を基本とし、年間で 379 回の開催を予定しています。

・ 令和 6 年度事業実績

介護認定審査会開催回数 312 回
 判定件数 一次判定 9,324 件
 （うち、再調査 0 件）
 二次判定 9,324 件

〔二次判定結果〕

（単位：件）

		二 次 判 定 結 果									再調査	合 計
		非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計		
市 町 村	会津若松市	43	1,186	560	1,242	724	595	858	512	5,720		5,720
	磐梯町	2	28	33	40	26	24	24	17	194		194
	猪苗代町	6	110	53	176	122	109	81	55	712		712
	会津坂下町	3	84	83	164	175	134	153	94	890		890
	湯川村		11	25	32	29	27	27	12	163		163
	柳津町		10	5	41	46	30	34	28	194		194
	三島町	1	3	16	28	32	19	15	6	120		120
	金山町	1	24	14	26	31	34	29	17	176		176
	昭和村		9	18	14	15	20	21	9	106		106
	会津美里町	3	99	122	222	173	151	164	115	1,049		1,049
計		59	1,564	929	1,985	1,373	1,143	1,406	865	9,324		9,324

② 廃棄物処理事業【環境センター】

圏域内の廃棄物処理事業として「ごみ」と「し尿」の処理施設の設置、管理及び運営を行っています。

また、ごみ処理施設は全体的に老朽化していますが、廃棄物処理に支障を来すことのないように、計画的かつ効率的な修繕に努めているところです。

・各施設の概要

処理施設		処理能力等	施設竣工年月
ごみ焼却処理施設		225 t / 24 時間	昭和 6 3 年 1 2 月
ごみ破碎処理施設		50 t / 5 時間	昭和 5 3 年 3 月
リサイクルセンター	びん保管施設	3 種類を保管 (無色、茶、その他)	平成 1 0 年 1 月
	ペットボトル圧縮保管施設	2.0 t / 5 時間	
	プラスチック圧縮保管施設	13.6 t / 5 時間	平成 1 7 年 3 月
有機性廃棄物リサイクル推進施設 (し尿処理施設)		211 kl / 日	令和 3 年 3 月
沼平第 3 最終処分場		埋立容量 152,000 m ³ 水処理施設能力 120 m ³ / 日	令和 4 年 7 月

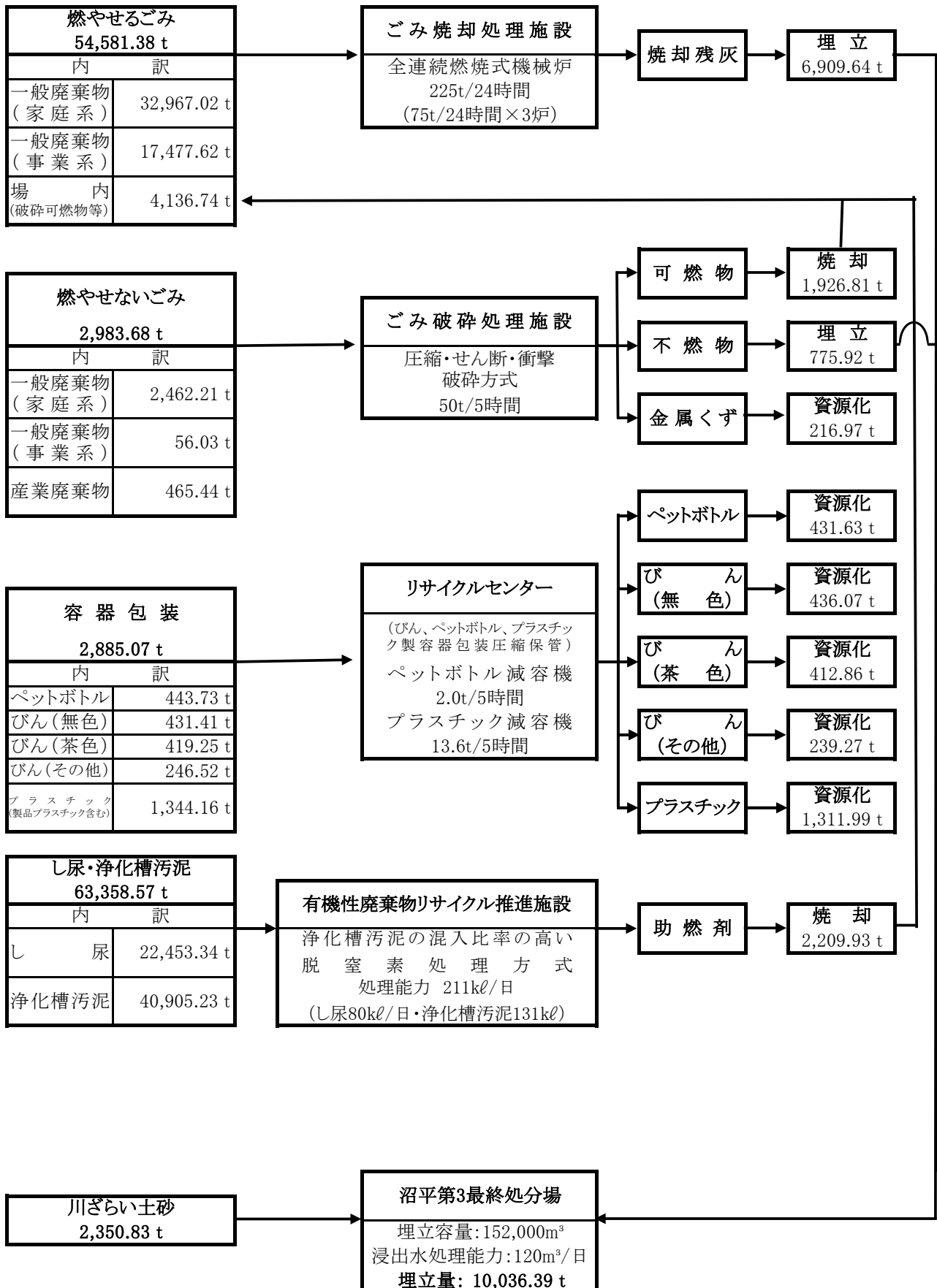
・廃棄物の搬入量

年度	燃やせるもの	燃やせないもの	容器包装	し尿・浄化槽汚泥
	[対前年度比]	[対前年度比]	[対前年度比]	[対前年度比]
令和 6 年	50,444.64t	2,983.68t	2,885.07t	63,358.57t
	[△4.50%]	[△5.28%]	[△0.26%]	[△3.13%]
令和 5 年	52,822.68t	3,150.01t	2,892.45t	65,406.93t
	[△5.91%]	[△7.11%]	[△2.62%]	[△1.71%]
令和 4 年	56,142.48t	3,391.03t	2,970.42t	66,545.86t
	[△0.50%]	[△7.34%]	[0.49%]	[1.00%]

・令和 6 年度の主な工事实績

ごみ焼却施設焼却炉等修理工事
 ごみ焼却施設耐火物等修理工事
 ごみ焼却施設クレーン定期修理工事
 ごみ焼却施設混練成形機修理工事
 ごみ焼却施設ろ過式集じん器修理工事
 ごみ焼却施設排ガス処理用空気圧縮機修理工事
 ごみ破碎施設破碎機等修理工事
 沼平第 2 浸出水処理施設原水ポンプ等修理工事
 沼平第 2 出水処理施設計装設備更新工事

令和6年度廃棄物処理実績



各処理施設の過去3年間の各種検査結果一覧表

【ごみ焼却処理施設】

熱 灼 減 量	単位	令 和 4 年 度			令 和 5 年 度			令 和 6 年 度		
		1 号	2 号	3 号	1 号	2 号	3 号	1 号	2 号	3 号
	%	4.6	3.4	4.2	3.7	3.3	2.8	3.8	2.8	4.3

検 査 項 目		単 位	令 和 4 年 度			令 和 5 年 度			令 和 6 年 度			基準値
			1 号	2 号	3 号	1 号	2 号	3 号	1 号	2 号	3 号	
ば い 煙	排 ガ ス 温 度	℃	170	177	177	171	176	178	170	177	182	
	排 ガ ス 流 速	m/s	14.50	16.25	15.28	13.69	15.75	14.47	15.90	15.70	15.75	
	排ガス量（湿りガス）	Nm ³ /h	31,700	26,965	32,675	29,640	33,740	30,825	34,050	37,900	33,320	
	排ガス量（乾きガス）	Nm ³ /h	19,533	20,975	20,050	20,160	22,640	19,925	21,475	24,680	20,960	
	排ガス中の水分量	%	38.5	40.1	39.1	32.1	32.8	35.5	37.1	30.9	37.1	
	ば い じ ん	g/Nm ³	0.0010	0.0010	0.0012	0.0013	0.0010	0.0013	0.0010	0.0016	0.0010	0.15以下
	硫 黄 酸 化 物	K 値	0.052	0.071	0.046	0.106	0.092	0.071	0.067	0.048	0.027	17.5以下
	窒 素 酸 化 物	p p m	140	153	150	163	135	158	163	154	143	250以下
	塩 化 水 素	mg/Nm ³	97	95	87	208	85	114	83	87	48	700以下
ダ イ オ キ シ ン 類	排 ガ ス	n g -TEQ/Nm ³	0.0140	0.0280	0.020	0.0340	0.0150	0.014	0.0390	0.0170	0.018	5以下
	焼 却 灰	n g -TEQ/g	0.0041	0.0011	0.0093	0.0076	0.0005	0.0028	0.0180	0.0069	0.0069	3以下
	ば い じ ん	n g -TEQ/g	0.57	0.79	0.56	0.51	0.62	0.55	0.68	1.00	1.10	

※ n g : ナノグラム (10億分の1)、TEQ: 毒性等量 (ダイオキシン類は多くの異性体を持ち、それぞれ毒性が異なる。異性体の中でも最も毒性が強いダイオキシンの毒性を1として各異性体の毒性を毒性等価係数により換算した量)

検 査 項 目		単 位	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
ご み 質	紙 ・ 布 類	%	57.7	55.0	39.4
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	20.9	22.1	28.4
	木 ・ 竹 ・ わ ら 類	%	7.7	5.6	3.3
	厨 芥 類	%	10.5	8.6	20.0
	不 燃 物 類	%	1.8	3.8	6.4
	そ の 他 (5 m m 以 下)	%	1.4	4.9	2.5
	単 位 容 積 重 量	kg/m ³	116	128	143
	水 分	%	54.2	40.3	43.6
	灰 分	%	4.1	6.8	6.8
	可 燃 物	%	41.7	52.9	49.6
	低 位 発 熱 量 (計 算 値)	KJ/kg	6,490	8,958	9,608
	低 位 発 熱 量 (実 測 値)	KJ/kg	7,185	9,935	8,243

【有機性廃棄物リサイクル推進施設】

検 査 項 目		単 位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	基 準 値
水 質	生物化学的酸素要求量 (BOD)	m g / ℓ	1.3	1.1	1.7	20以下
	化学的酸素要求量 (COD)	m g / ℓ	4.5	4.8	3.8	
	浮 遊 物 質 量 (SS)	m g / ℓ	1.2	1.0	1.0	70以下
	水 素 イ オ ン 濃 度 (pH)		7.2	7.3	7.4	5.8～8.6
	大 腸 菌 群 数	個 / c m ³	2.3	0.4	0.3	3,000以下
	塩 化 物 イ オ ン 濃 度 (Cl ⁻)	m g / ℓ	522	508	445	

【沼平第3最終処分場】

検 査 項 目		単 位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	基 準 値
水 質	生物化学的酸素要求量 (BOD)	m g / ℓ	1.9	1.0	0.8	3以下
	化学的酸素要求量 (COD)	m g / ℓ	6.1	3.9	5.0	10以下
	浮 遊 物 質 量 (SS)	m g / ℓ	0.8	0.5	0.5	5以下
	水 素 イ オ ン 濃 度 (pH)		7.3	7.4	8.0	5.8～8.6
	大 腸 菌 群 数	個 / c m ³	0	2.3	0.0	100個以下
	窒 素 含 有 量	m g / ℓ	2.4	1.8	2.8	10以下
	カドミウム及びその化合物	m g / ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01以下
	鉛 及 び そ の 化 合 物	m g / ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	0.05以下
	シ ア ン 化 合 物	m g / ℓ	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
	水 銀 及 び ア ル キ ル 水 銀 そ の 他 の 水 銀 化 合 物	m g / ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005以下
	ア ル キ ル 水 銀 化 合 物	m g / ℓ	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
ダ イ オ キ シ ン 類	放 流 水	p g - T E Q / ℓ	0.000035	0.000051	0.000051	10以下
	周縁地下水	p g - T E Q / ℓ	0.025	0.032	0.032	1以下

※1 「<」は定量下限値未満を示す。

※2 p g : ピコグラム (1 兆分の1)

施設整備事業費一覧表

(単位：千円)

施設名 項目		ごみ処理施設				有機性廃棄物 リサイクル 推進施設 (し尿処理施設)	沼平第3 最終処分場
		ごみ焼却 処理施設	ごみ破碎 処理施設	リサイクルセンター			
				容器包装(びん・ペ ットボトル)圧縮保 管施設	容器包装(プラスチ ック)圧縮保管施設		
着工		昭和61年6月16日	昭和52年7月21日	平成9年9月1日	平成16年7月14日	平成30年6月6日	令和2年1月15日
竣工		昭和63年12月15日	昭和53年3月10日	平成10年1月30日	平成17年3月25日	令和3年3月31日	令和4年7月29日
総事業費		4,287,937	253,245	114,994	173,889	5,229,806	5,676,312
事業費内 訳	主体工事費	4,103,941	244,000	102,879	161,910	5,197,989	5,621,972
	付帯工事費	162,564	5,573	2,646	2,023	-	-
	検査等委託費	11,790	1,784	4,882	9,765	30,600	54,340
	事務費	9,642	1,888	20	191	1,217	-
財源内 訳	国庫支出金	981,716	61,000	-	41,133	1,456,141	1,504,614
	組合債	2,600,900	182,100	88,300	111,000	3,289,200	3,822,500
	その他	316,683	-	-	-	483,248	349,198
	一般財源	388,638	10,145	26,694	21,756	1,217	-
備考		※その他は 基金 316,097 売却代金(廃鉄材 など) 586 ◎一酸化炭素濃度 連続分析計設置 (平成5年度) 63,860 ◎施設改造工事 (平成12～14年度) 3,199,671	◎破碎機更新工事 (平成9年度) 173,106	◎減容機更新工事 (平成24年度) 10,395	◎建築 80,325 ◎機械設備 61,950 ◎電気設備 19,635	※事務費は各種申 請手数料 ※その他は廃棄物 処理施設基金繰 入金	◎埋立地造成 3,185,052 ◎浸出水処理施設 2,436,920

・新たな廃棄物処理施設の整備について

《 中間処理施設の整備 》

し尿処理施設については、稼働開始から40年以上を経過して老朽化が進んでいたことから、現在の敷地内に平成30年6月から建替工事を開始し、令和3年3月に有機性廃棄物リサイクル推進施設（新し尿処理施設）が竣工、同年4月から運營業務（15年間）を開始しています。

また、ごみ処理施設についても稼働開始から30年以上を経過して老朽化が進んでいますが、施設の点検や修繕を実施しながら処理機能を確保し、適正な維持管理に努めているところです。

今後は、現在の敷地内で順次建替えを実施することとし、新たな施設を整備することにより安全かつ安定した廃棄物処理を継続するとともに、より快適な生活環境の保全に寄与してまいります。

なお、新たなごみ焼却施設については、令和3年8月に建設工事と運營業務を行う事業者との契約を締結し、旧し尿処理施設の跡地に、令和8年3月の竣工に向けて建替工事を進めています。

【新たな中間処理施設の稼働目標年度】

新 施 設 の 名 称	目 標 稼 働 年 度
エネルギー回収型廃棄物処理施設 （ごみ焼却施設）	令和 7 年度
マテリアルリサイクル推進施設 （ごみ破碎施設・リサイクルセンター）	令和 1 3 年度

《 最終処分場の整備 》

磐梯町に沼平第1最終処分場、第2最終処分場に続き、令和4年7月より、沼平第3最終処分場が竣工、埋立を開始しております。

③ 水道用水供給事業【用水供給課（馬越浄水場）】

会津若松市、会津坂下町及び会津美里町の3市町に対して、水道用水供給事業として、大川ダム放流水を水源とし、貯水施設、取水施設、導水施設、浄水施設、送水施設を設置し、水道用水を供給しています。

・構成団体別水量及び負担率

	最大取水量	最大給水量	負担率
会津若松市	11,700 m ³ /日	10,900 m ³ /日	42.6 %
会津坂下町	10,000 m ³ /日	9,300 m ³ /日	36.4 %
会津美里町	5,800 m ³ /日	5,400 m ³ /日	21.0 %
合 計	27,500 m ³ /日	25,600 m ³ /日	100.0 %

・供給用水料金（平成31年4月1日料金改定）

	基本料金（月額）	水量料金	水量料金 （超過水量）
会津若松市	14,932 千円	10 円/m ³	55 円/m ³
会津坂下町	12,740 千円		
会津美里町	7,397 千円		
合 計	35,069 千円		

（消費税及び地方消費税抜き）

・各種諸元

水源及び取水地点	阿賀川表流水（大川ダム放流水） 大沼郡会津美里町穂馬字下川原地内
水利権	0.318 m ³ /s （令和2年6月5日水利使用更新許可）
給水開始年月	平成2年4月（一部給水） 平成2年6月（全面給水）
工期及び事業費	昭和50年度～平成元年度（15か年間） 12,945,367 千円

・構成団体別給水量

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会津若松市	1,780,078 m ³	1,830,352 m ³	1,882,739 m ³
会津坂下町	1,727,200 m ³	1,720,820 m ³	1,691,410 m ³
会津美里町	1,710,043 m ³	1,750,478 m ³	1,754,652 m ³
合 計	5,217,321 m ³	5,301,650 m ³	5,328,801 m ³

・令和6年度の主な工事実績

送水ポンプ電気設備その他更新工事
宮瀬水管橋（上部工）耐震補強工事
取水ポンプ場耐震補強工事

令和6年度馬越浄水場運転実績

*薬品費
1.81 円/m³

*給水量対比

活性炭

使用量 6,020 kg/年
注入率 0.54mg/l
薬品費 1,361 千円/年
平均 3,728 円/日
コスト 0.255 円/m³
*給水量対比

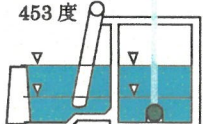
取水流量

年合計 5,334,982 m³
日平均 14,616m³
日最高(8.14) 16,882m³
利用率 53.1%
対前年比 99.63%

原水濁度

年平均 2 度

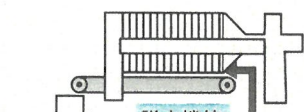
年最高(8.7 22:40)



阿賀川 取水ポンプ場

取水ポンプ 運転時間

No.1 4,622h
No.2 4,488h
No.3 4,276h
No.4 4,142h
合計 17,528h
対前年比 99.6%



脱水機設備

浄水発生土処分量 199.69t (最終 38.31t・中間 161.38 t)

処理費用 4,158 千円

脱水回数 66 回

量対前年比(t) 99.9%

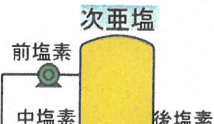
ケイ含水率 75.30%

処理汚泥量 4,089 m³

汚泥濃度 1.27%

搬出トラック台数 33 台(9 台/4t 車・24 台/7.8 t 車)

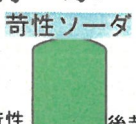
ランニングコスト 0.78 円/m³ *給水量対比



前塩素 中塩素 後塩素
使用量 46,570 kg/年
注入率 0.84 mg/l
薬品費 2,734 千円/年
平均 7,489 円/日
コスト 0.513 円/m³
*給水量対比



使用量 131,660 kg/年
注入率 23.63mg/l
薬品費 5,278 千円/年
平均 14,461 円/日
コスト 0.991 円/m³
*給水量対比



前苛性 後苛性
使用量 2,052 kg/年
注入率 0.37mg/l
薬品費 248 千円/年
平均 680 円/日
コスト 0.047 円/m³
*給水量対比

動力費

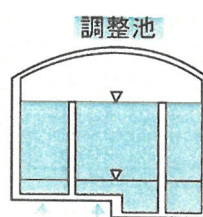
年合計 47,158 千円
日平均 129,201 円
電力量 1,944 千kw
対前年比(kw) 99.8%
コスト 8.85 円/m³
*給水量対比

表洗ポンプ 運転時間

No.1 124h
No.2 125h
合計 249h
対前年比 99.6%

送水ポンプ 流量

年合計 5,462,338m³
日平均 14,965m³
日最高(8.14) 17,369m³
利用率 58.5%
対前年比 100.5%



* 税抜き価格

送水量

年合計 5,404,444m³
日平均 14,807m³
日最高(8.14) 17,187m³
利用率 57.8%
対前年比 100.5%

利用率

会津若松市 47.3%
会津坂下町 49.8%
会津美里町 89.0%

会津若松市

面川愛水池 1,425,180m³/年
3,905m³/日
日最高(10.29) 4,590m³

会津美里町

本郷 第4配水池 281,730m³/年
772 m³/日
日最高(9.26) 910m³

会津若松市

北会津 愛水塔 457,559m³/年
1,253m³/日
日最高(9.9) 1,652m³

会津美里町

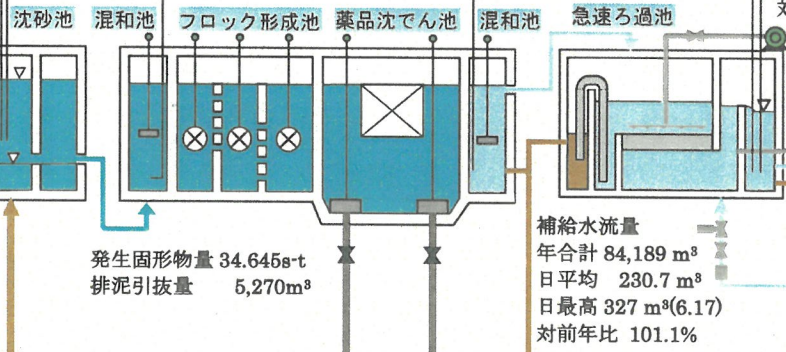
高田 虫掛配水池 1,192,479m³/年
3,267m³/日
日最高(8.13) 4,445m³

会津美里町

新鶴佐賀 瀬川配水池 280,443m³/年
768 m³/日
日最高(6.12) 976m³

会津坂下町

中央配水池 1,691,410m³/年
4,634m³/日
日最高(1.21) 5,200m³



発生固形物量 34.645t
排泥引抜量 5,270m³

ろ過速度(64.4m/日)
年合計 5,454,508m³
日平均 14,944m³

補給水流量
年合計 84,189 m³
日平均 230.7 m³
日最高 327 m³(6.17)
対前年比 101.1%

引抜回数

1系-1 75 回
1系-2 18 回
2系-1 74 回
2系-2 15 回
合計 182 回
対前年比 97.3%

汚泥掻き機運転時間

1系-1 11.1h
1系-2 2.9h
2系-1 12.3h
2系-2 3.2h
合計 29.5h
対前年比 91.6%

着水返送流量

年合計 475,732 m³
日平均 1,303 m³
日最高(5.8) 2,342 m³
対前年比 98.1%

濃縮ポンプ 運転時間

No.1 60h
No.2 57h
合計 117h
対前年度比(h) 142.7%
引抜汚泥 3,300 m³

排泥ポンプ 運転時間

No.1 143h
No.2 139h
No.3 148h
合計 430h
対前年比 99.3%

着水ポンプ 運転時間

No.1 2,420h
No.2 2,442h
No.3 2,926h
合計 7,788h
対前年比 100.2%

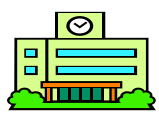
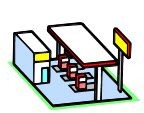
給水量

年合計 5,328,801m³
日平均 14,599m³
日最高(8.14) 16,922 m³
利用率 57.0%
対前年比 100.5%

(2) 消防本部

当組合消防本部は昭和47年4月1日に発足し、現在、1消防本部、4消防署、1分署、7出張所にて、地域住民の安全・安心を確保するため、令和7年度重点目標を掲げ消防業務を推進しています。

① 令和6年度の一目統計

面積	人口	世帯数	人口密度	
1,991.89 km ² (構成: 1市7町2村) 約 6.92km ² (職員一人当り管轄面積)	165,644 人	70,399 世帯	約 83.2 人 (1km ² 当り人口) 約 575.2 人 (職員一人当り管轄)	
				
署所	消防職員	消防車両	特殊車両	緊急消防援助隊登録部隊
消防本部 1 消防署 4 分署 1 出張所 7	条例定数 289 人 現員 288 人 (ほか短時間 再任用 8 人) 平均年齢 38.9 歳 平均勤続年数 17.7 年	ポンプ車 20 台 救急車 18 台 (うち高規格 18 台)	水槽車 1 台 化学車 1 台 梯子車 1 台 救助工作車 1 台 支援車 1 台 資材搬送車 1 台 無線中継車 1 台 拠点機能形成車 1 台	指揮隊 1 隊 救急隊 4 隊 消火隊 6 隊 特殊装備隊 1 隊 特殊災害隊 1 隊 救助隊 1 隊 後方支援隊 2 隊
				
火災	出火原因	火災による死傷者	火災による損害額	焼損面積
火災件数 74 件 (内訳) 建物 40 件 林野 3 件 車両 11 件 その他 20 件	1 位: 放火の疑い 6 件 2 位: こんろ 5 件 3 位: 電気機器 4 件 ※その他、不明を除く	死者: 2 人 (うち自損 0 人) 負傷者: 10 人	116, 038 (千円) 1 件当たり: 1, 568(千円)	建物床面積: 2,917 m ² 建物表面積: 514 m ² 林野: 11 a
				
救急	救助	災害通報受理件数	防火対象物	危険物施設
出動件数 10,060 件 搬送人員 9,608 人 (搬送人員内訳) 急病 6,934 人 交通事故 516 人 その他 2,158 人	出動件数: 134 件 救助人員: 74 人	固定電話(119) 5,210 件 携帯電話(119) 5,067 件 その他 555 件	防火対象物数 6,939 対象物 (うち法 8 条対象物) 1,851 対象物 高層建築物 10 階以上: 30 棟	危険物施設数 972 施設 (内訳) 製造所: 12 貯蔵所: 671 取扱所: 289

※ 令和7年4月1日現在

(火災、救急、救助等件数及び災害通報受理件数にあっては令和6年中)

② 令和7年度重点目標

住民の安全・安心のための消防施設整備及びデジタル化の推進	1 消防活動拠点として機能を確保するための消防庁舎の整備 2 消防力適正配置基本方針に基づく消防体制の強化 3 第2次消防施設整備計画の推進 4 消防指令センター更新事業等の推進 5 デジタル化による行政サービスの充実及び業務改革・事務効率・生産性向上の推進
働き方改革の推進	1 メンタルヘルスケアの充実 2 人材育成の推進
火災予防対策の推進	1 住宅防火対策の推進 2 防火対象物に対する防火安全対策の推進 3 危険物施設に対する保安全管理体制の強化 4 効果的かつ効率的な予防行政の推進 5 人材育成の推進
効果的かつ柔軟性に富む警防業務の強化	1 各種災害に即時対応できる体制強化 2 訓練に基づく職員個々の災害対応力の強化 3 救急業務の充実強化
消防通信指令業務高度化の推進	1 119番受信体制の充実及び情報収集・連絡体制の充実強化 2 各種指令センター研修・教育等の推進 3 新指令システムへの確実な移行体制の確立

③ 令和6年度の事業実績

ア 防災対策の充実

・整備計画に基づく車両配備

配備署所名	車両種別
会津若松消防署	ポンプ車(CD-1)
会津坂下消防署	救急自動車
猪苗代消防署	救急自動車

・各種訓練参加

会津三広域消防本部合同訓練
 福島県総合防災訓練
 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練
 避難指示区域内における大規模火災対応訓練
 会津三広域救急実務懇話会
 ドクターヘリ症例検討会
 ドクターカー症例検討会
 多数傷病者対応訓練
 検証医部会
 東北救急医学会
 救急実務講習会

イ 防災予防対策の充実

- ・防火対象物立入検査 1,090 件実施
- ・危険物施設等立入検査 389 件実施

ウ 職場環境の整備・人材育成及び健康管理の推進

・職員研修状況（86 人）

研修内容	参加人数	研修内容	参加人数
消防大学校	3 人	自治研修センター	51 人
福島県消防学校	29 人	救急救命士養成課程	3 人

・職員資格取得状況（37 人 ※個人取得を含む）

資格内容	取得人数	資格内容	取得人数
救急救命士	3 人	酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者	2 人
予防技術検定	13 人	小型移動式クレーン	2 人
安全衛生推進者講習	2 人	玉掛技能	4 人
陸上特殊無線技士	4 人	大型一種自動車免許	2 人
危険物乙種取扱者	3 人	クレーン運転業務 特別教育講習	2 人

・消防職員委員会の積極的活用

開催回数 1 回 提出意見 14 件

・安全衛生委員会の積極的活用

平成 16 年 12 月より毎月開催

・健康管理の維持・推進

人間ドック受診の奨励 57 件
産業医による職場巡視及び健康相談の実施
職場巡視実施回数 5 回
健康相談 診療時間帯に相談窓口
受動喫煙防止対策の推進

・メンタルヘルス対策の推進

統括安全衛生管理者による職場巡視
ストレスチェック実施
メンタルヘルス研修会

④ 令和 6 年度の主な工事实績

- ア 旧会津美里消防署解体工事（第 2 期）
- イ 会津若松消防署城南分署大規模改修工事（第 1 期）
- ウ 会津若松消防署 1 階トイレ污水管修繕工事
- エ 猪苗代消防署暖房設備サーモバルブ取替工事

(3) 会津総合開発協議会

会津地方の開発促進を目的に、昭和38年8月、会津28市町村（現在は市町村合併により17市町村）の首長並びに議会議長を会員として結成された任意の協議会です。

「会津はひとつ」のスローガンのもと、全会津に共通する課題や事業の実現のため要望事項の調査研究を行い、一丸となって国・県及び関係機関に対し要望活動を実施しています。

また、第3セクターである会津鉄道・野岩鉄道への支援を行っています。

URL－<https://www.aizu-kouiki.jp/kumiai/kanren/kaihatsu-kyougikai.html>

(4) 会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会

当組合と喜多方地方広域市町村圏組合は、消防通信指令に関する事務を共同で管理、執行するために協議会を設置し、平成24年3月1日に全国初の一部事務組合同士による共同運用を開始しています。

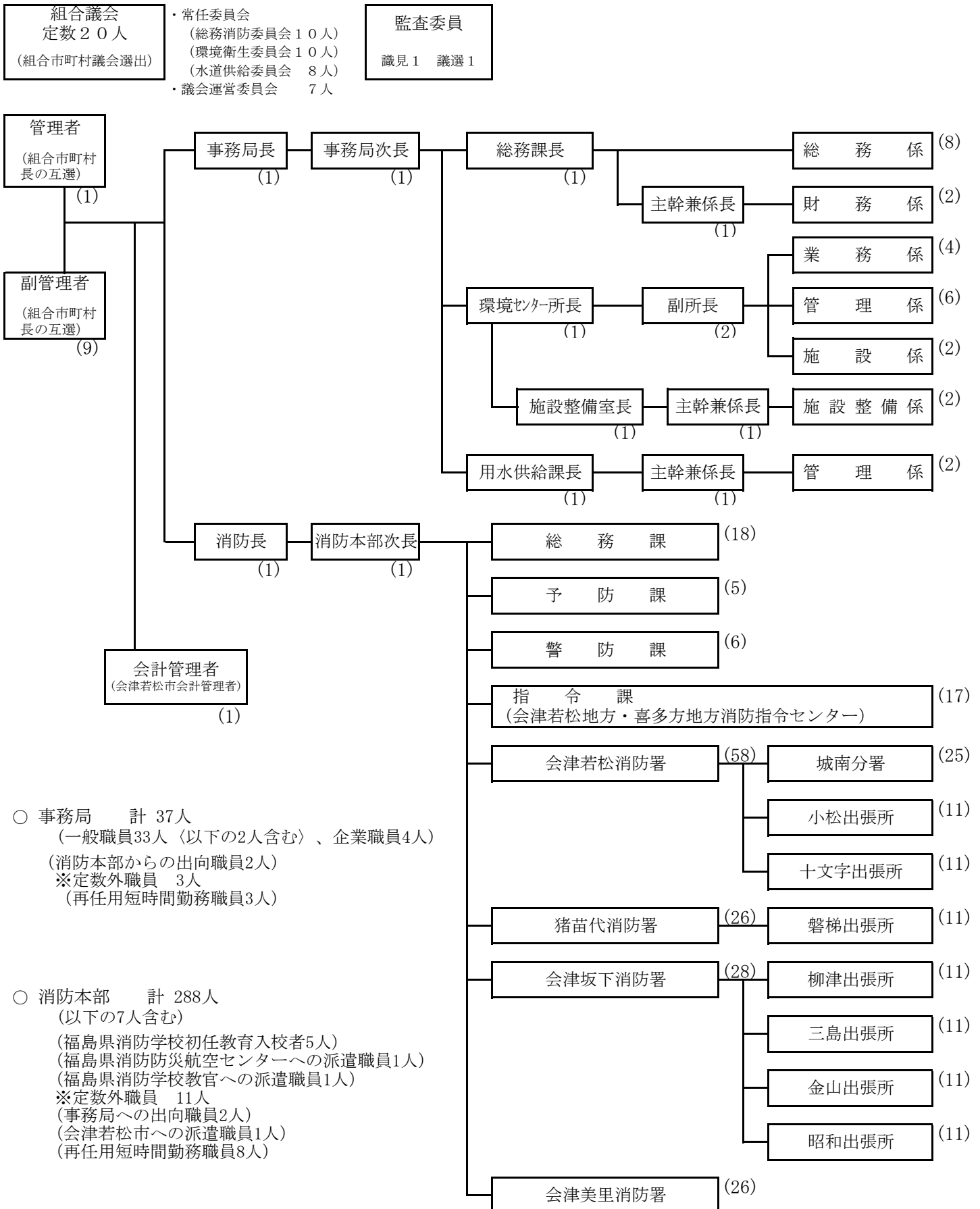
この高機能通信指令センターは、運用開始後10年余りが経過し、耐用年数等を考慮した更新計画に基づく一部機器及び設備の更新（部分更新）を令和元年度に完了。令和7年度の全体更新を控え、残期間の安定的稼働を図るとともに、更新整備に係る確実な業務を遂行しているところです。

さらに、近年増加する外国人観光客への多言語対応のため、令和元年6月1日から「電話通訳センターを介した三者間同時通訳サービス」を開始。

また、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障がい者が円滑に消防への通報を行えるようにするため、令和3年9月1日から「NET119緊急通報システム」の運用を開始し、総務省消防庁から求められる多様化する119番通報に対応するため、検討及び研究を重ね、通信指令業務のさらなる強化を図っています。

会津若松地方広域市町村圏整備組合組織図

(令和7年4月1日現在)



会津若松地方広域市町村圏整備組合

【事務局】

総務課

〒965 - 0037

福島県会津若松市中央三丁目 10 番 12 号

電 話	総 務 係	(0242) 24 - 6311
	介護認定審査担当	(0242) 24 - 6514 (ローコスト)
	財 務 係	(0242) 24 - 6311
	会津総合開発協議会	(0242) 24 - 6312
	※ 各 係 共 通	(0242) 24 - 6313

F A X

環境センター

〒965 - 0858

福島県会津若松市神指町大字南四合字才ノ神 494 番地 3

電 話 (0242) 27 - 9004

F A X (0242) 27 - 9005

用水供給課

〒969 - 6135

福島県大沼郡会津美里町穂馬字宮ノ上乙 1010

電 話 (0242) 56 - 4192

F A X (0242) 56 - 3020

【消防本部】

〒965 - 0131

福島県会津若松市北会津町中荒井字諏訪前 11

総務課

電 話 総務グループ (0242) 59 - 1400

F A X (0242) 59 - 1405

予防課

電 話 (0242) 59 - 1403

F A X (0242) 59 - 1404

警防課

電 話 (0242) 59 - 1402

F A X (0242) 59 - 1404

指令課

電 話 (0242) 59 - 1420

F A X (0242) 59 - 1430

〒965 - 0037

福島県会津若松市中央三丁目 10 番 12 号

総務課

電 話 財政グループ (0242) 25 - 1203

F A X (0242) 32 - 2930

ホームページ <https://www.aizu-kouiki.jp>

E メール aizu.kouiki1@119-aizu.jp